

OpenPNEがあれば
オフィスはいらない

2011/06/17

手嶋 守 tejima@tejimaya.com

テーマ

自分が仕事場に向かうのと
仕事場を自分に向かわせるの

効率がいいのはどっち？

自己紹介

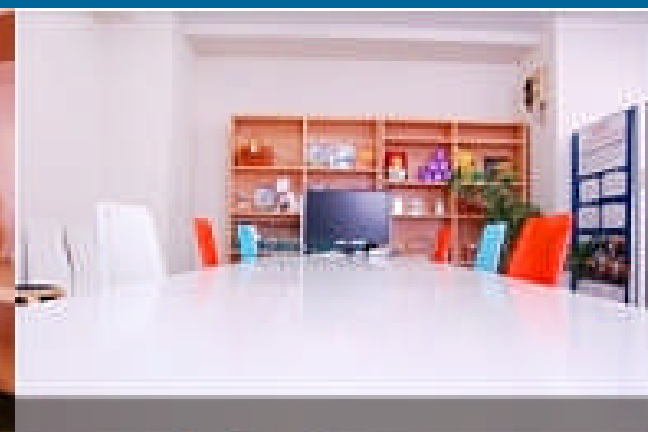
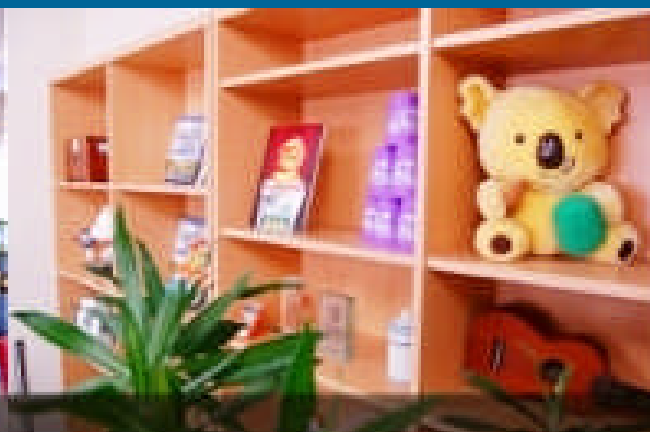
■ 手嶋 守

■ 1979年東京生まれ

■ 実家は段ボール屋

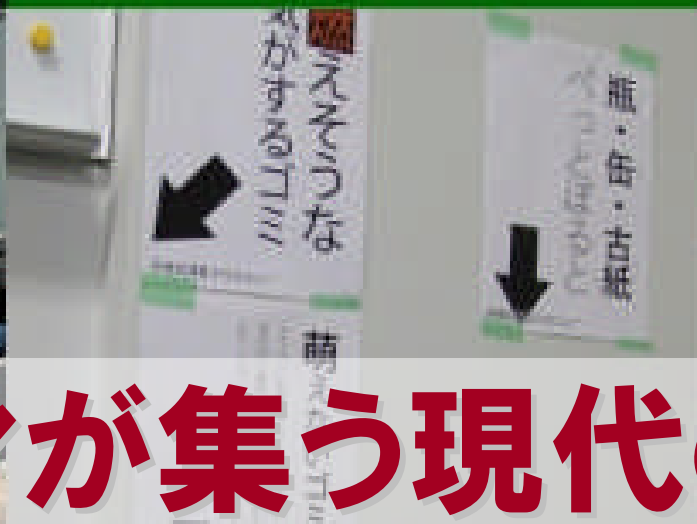
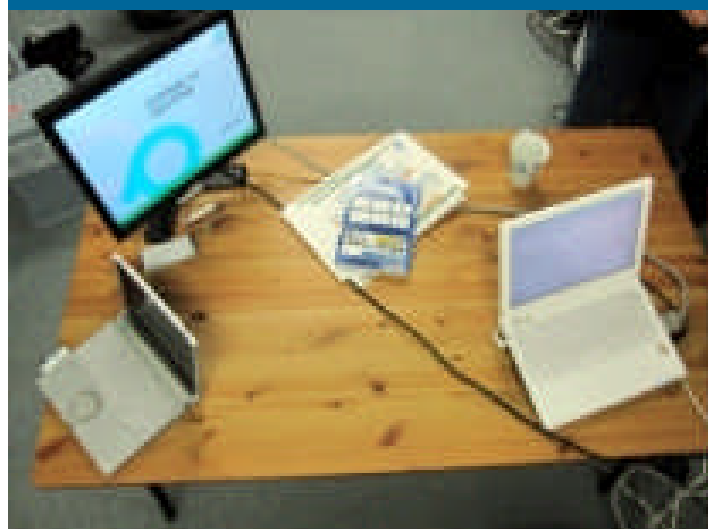
■ 2005年にOpenPNEをオープンソース化

■ OpenPNEのサポート会社手嶋屋の代表



寝ても覚めても
オープンソース。





プログラマが集う現代のトキワ荘

OpenPNE紹介

プライベートなWEBコミュニティを、だれでも自由に
作ることができるソフトウェア

目標

仲間同士の“居場所”を提供する

OpenPNEを体験

デモンストレーション

自己紹介

■ なんでOpenPNEを作ったのか？

■ 旅をするのが好き、場所に縛られたくない

■ ソーシャル・ネットワークの居心地が悪くなった

■ 一番居心地がいい、仲間との空間を作りたい

人はなぜオフィスで働くのか？

オフィスの成り立ち

■ 日本のオフィスの歴史

■ 家で働く

■ 工場で働く

■ オフィスで働く

人はなぜオフィスで働くのか？

■ それでもオフィスで働く3つの理由

- コミュニケーション

- セキュリティ

- モチベーション管理

人はなぜオフィスで働くのか？

■ オフィスの3つのデメリット

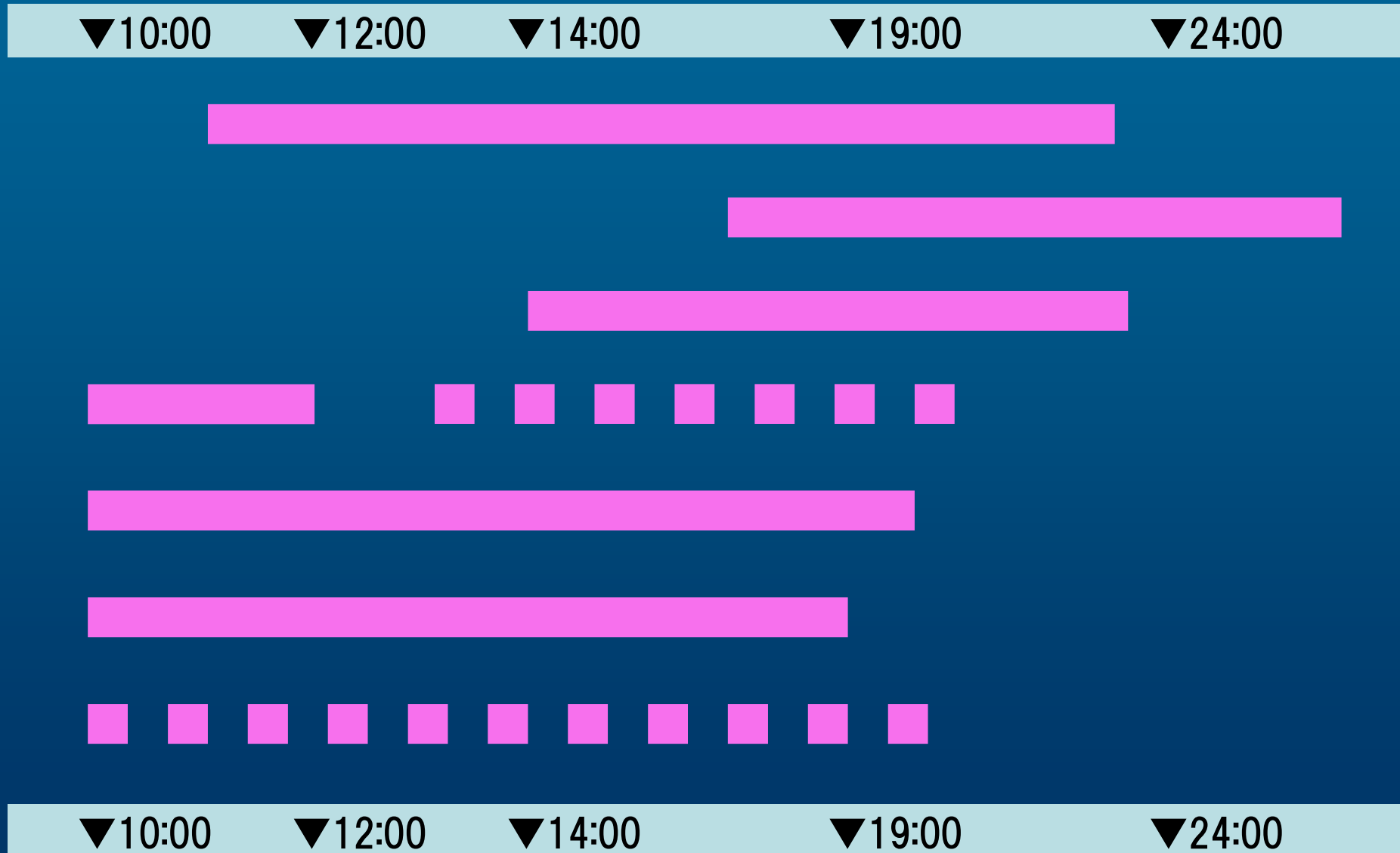
- 時間

- コラボレーション機会

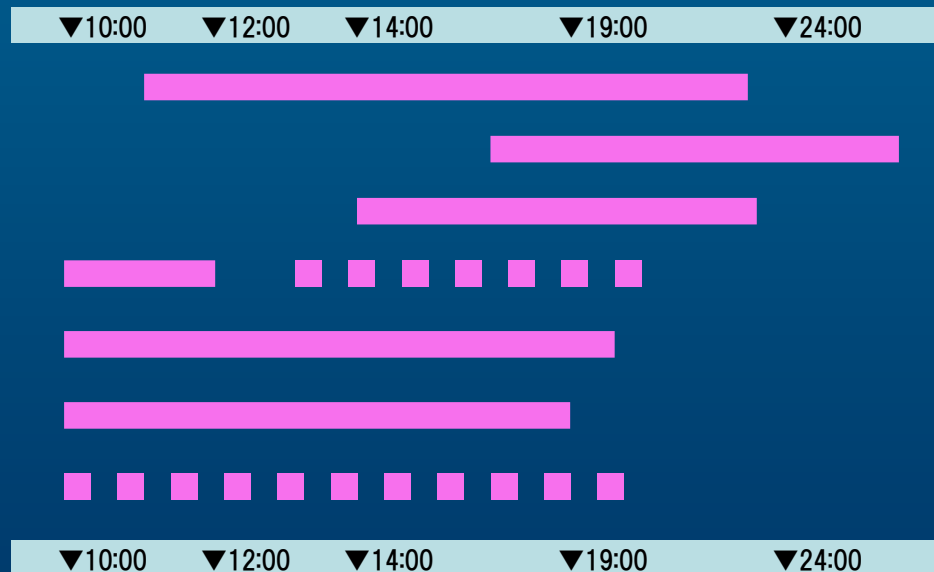
- 物理的制約

手嶋屋社内で実験

手嶋屋メンバーの活動時間



メンバーの活動時間



全員が集合する時間がほとんどない

ミーティングやコラボレーションは必要

エンジニアのワークスタイルは維持したい

手嶋屋で実験

- 実験のためにリモートの仕事を作った
 - 物理的なミーティングを撲滅 or 時短した
 - 全議論をOpenPNE内で行うようにした
 - 社外ミーティングもSkype会議を増加
-
- コミュニケーション不足を補うプラグインを開発
 - リモートだけでできない仕事がある
 - 大半はOpenPNEとチャットに集約された
 - 社内での電子メールはほとんど使わなくなった

課題

■ リアル手嶋屋とバーチャル手嶋屋に分かれた

リモート&ネットを好むスタッフ、現場&リアルを好むスタッフが独立してコミュニケーションする

未来のコミュニケーション

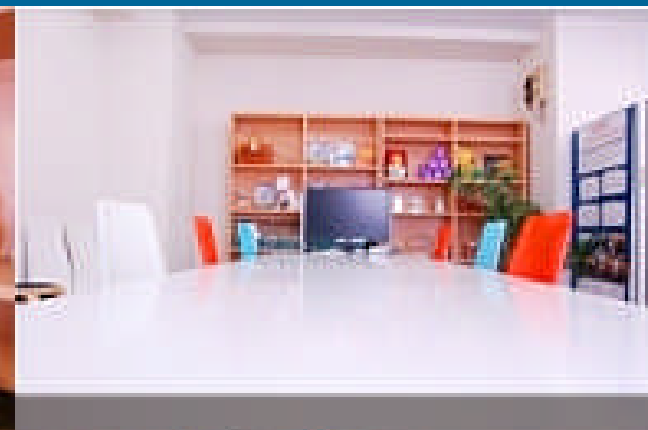
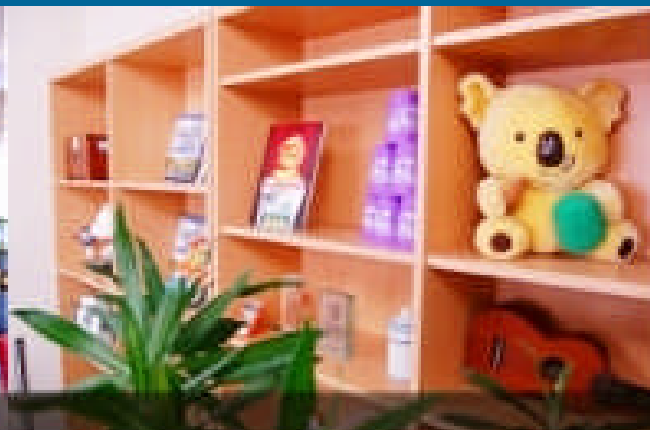
- デスクワークの場所としてのオフィスが消滅したとき、物理的なオフィスにはどんな変化が起きるか？
- オフィスは親交、交流の場に
 - みんなでバーベキューをする
 - チームワークのためのキックオフ、ブレインストーミング
 - 気がめいらないように、集中するために集まる
- オフィスは小さく地域に分散
 - ノマドワーキング、コワーキング
 - 旅人ワーカーの出現

OpenPNEでこの世界を実現する

OpenPNEで新しい ワークスペースをつくる

OpenPNEを会社を導入する

1. @tejima をフォローする
2. OpenPNE3を社内に設置する
3. 社内のアカウントとシングルサインオンする
4. 全メンバーをOpenPNEに入会
5. OpenPNE上のコミュニティの議論にスイッチする



寝ても覚めても
オープンソース。

